

宍粟市山崎文化会館(平成25年5月18日)

住民意見(説明会)と対応

No.	地区	意見	回答
1	宍粟市	「宍粟のここは今から30年後までに、ここからここまではいつごろしますよ、ここからは30年たっても極端に言ったらしないところもあります」という、もう少し具体的な説明をお願いしたい。	整備の実施にあたっては、事前に対象地区住民の方々、関係機関等に対して十分な説明、調整を行います。「揖保川水系河川整備計画(案)(国管理区間)」の期間目標は「概ね30年間」としてありますが、整備については4.1.1に「過去の水害発生状況、背後地の重要度、社会的な諸条件等を勘案し、本支川、上下流の治水安全度のバランスを確保しつつ、段階的に整備を実施する。」と記載しており、これに基づいて実施してまいります。
2	宍粟市	岸田地区三津井堰は、改築してもらえるとというふうになっているんですけども、いつ頃、どういうふうな形でしてもらえるのか。	堰の形状等については管理者と調整を行い、「揖保川水系河川整備計画(案)(国管理区間)」では4.1.1(1)8「岸田地区 流下能力を向上させるため、堰改築を行う。堰改築に伴い魚類等の移動の改善を図る。」と記載しております。
3	宍粟市	木坂橋の上流においてこの前の洪水の時に石積みが壊れて、再度やり直しをしていただいている。今回は橋下流において築堤を計画されているので、できれば一緒に築堤を嵩上げしてもらいたい。	「揖保川水系河川整備計画(案)(国管理区間)」では、段階的な整備を行っていくこととして、流域で甚大な被害が発生した昭和51年9月洪水規模に対して、人的被害も念頭に家屋浸水が想定される箇所を優先的に整備してまいります。
4	宍粟市	私どもは23年度の時に国交省さんに、「県道26号の27kmあたりの堤防を補強していただきたい」との要望を行いました。30年と言われても、来年どんな豪雨が起きるかわかりません。こういう要望を考慮していただいて、いづらかでも土砂撤去をおねがいしたい。	土砂の管理につきましては、「揖保川水系河川整備計画(案)(国管理区間)」では4.4.2(4)に「河道掘削、堰改築等による河床変動等の土砂管理に関する課題について、メカニズムや土砂動態を明らかにし、具体的な対策につなげるため定期的な河川縦横断測量や出水後の巡視等により、河道内堆積土砂の変動の状況及び傾向を把握し、流下能力阻害となる場合は撤去を実施する。」と記載しております。
5	宍粟市	山崎大橋の右岸上流が私どもの自治会ですが、その左岸側に堤防があって、私どもにはない。高さは向こうのほうが50センチぐらい高い。山崎大橋上流左岸の土砂が低いこちらがわへ押し寄せてきています。27k地点と同様に右岸に比べ左岸に1メートル30~50高い堤防ができて土砂を撤去しないと。洪水はまっすぐ右岸側にくる。そのあたりを考えていただきたい。	「揖保川水系河川整備計画(案)(国管理区間)」では、段階的な整備を行っていくこととして、流域で甚大な被害が発生した昭和51年9月洪水規模に対して、人的被害も念頭に家屋浸水が想定される箇所を優先的に整備してまいります。
6	宍粟市	河川測量はしてくれたが堆積土砂だけ測って堤防、地盤高は測ってないのではないか。地盤高、水の流れを見て対策の必要性を判断してほしい。	河川横断測量につきましては、堤防の高さも、住宅側の高さも定期的に行っています。「揖保川水系河川整備計画(案)(国管理区間)」では4.4.2(4)に「河道掘削、堰改築等による河床変動等の土砂管理に関する課題について、メカニズムや土砂動態を明らかにし、具体的な対策につなげるため定期的な河川縦横断測量や出水後の巡視等により、河道内堆積土砂の変動の状況及び傾向を把握し、流下能力阻害となる場合は撤去を実施する。」と記載しております。

No.	地区	意見	回答
7	穴粟市	山崎大橋から縦貫道にかけてどれぐらいの土砂の堆積があったんでしょうか。	昭和45年から平成21年の河川横断測量結果を見ると、顕著な土砂堆積は確認されませんでした。 土砂の管理についても河川管理上支障とならないよう「揖保川水系河川整備計画(案)(国管理区間)」では4.4.2(4)「河道掘削、堰改築等による河床変動等の土砂管理に関する課題について、メカニズムや土砂動態を明らかにし、具体的な対策につなげるため定期的な河川縦横断測量や出水後の巡視等により、河道内堆積土砂の変動の状況及び傾向を把握し、流下能力阻害となる場合は撤去を実施する。」と記載しております。
8	穴粟市	川底の土砂上げて川幅を広げたり、用水の量を増やすと、たくさんの土砂が出ます。どういう形でその土砂を処理するのか、土の排出場所、捨て場所についてはどのように考えているのでしょうか。	他の公共工事で土砂が必要とされる場合は、その工事と調整します。調整がつかない場合は有料投棄という考え方で実施しております。
9	穴粟市	兵庫県が管理する支川整備との連携はどのようになっているのでしょうか。	ご意見のとおり、県管理区間との調整も取り組んでいくこととして、「揖保川水系河川整備計画(案)(国管理区間)」では2.4.3(1)3に「流域全体の治水対策を進めるにあたり、国と兵庫県が連携し治水安全度の確保、向上あるいは治水施設の整備に必要な調査、評価を行い、それに基づき流域の今後のあり方について具体の整備を進めることを目的として総合流域防災協議会を開催している。」と記載しております。
10	穴粟市	できたら国交省や、穴粟市とか、それから地権者とか、自治会長が出てきて、みんなが一緒になって揖保川を、一宮町なら一宮、山崎、そういうふうに2日ほどかけて見てもらったら、もっともっと立派な設計図ができると思います。	現地を歩くということを企画させていただきたい。 「揖保川水系河川整備計画(案)(国管理区間)」では4.2に「地域住民との合同河川巡視」を記載しております。
11	穴粟市	引原ダムの耐用年数は、何年ですか。	ダム管理者の兵庫県に確認したところ、以下の回答でした。 「定期的に点検管理を実施し、必要な補修等を行っている。このように延命化を図っているため、一概に耐用年数は表せません。」
12	穴粟市	水量の安定した揖保川にするために、どのような考えでおられるのでしょうか。最近の揖保川、それから周辺の流域の環境が変わっている。一番大事な山の荒廃が水量に影響しているのではないかと考えている。	山地の荒廃については、関係機関と調整を行うこととし、「揖保川水系河川整備計画(案)(国管理区間)」では4.4.3(5)に「山林の荒廃や開発等による土砂や流木の流出の増大を軽減するため、国、関係自治体が連携して流域の保水・遊水機能の保全・改善・流木対策を促進する。」と記載しています。
13	穴粟市	洪水の今の一番の原因は山の荒廃だと思うんです。だから、森林管理署ともタイアップするとか、県ともタイアップせんことには、こういった揖保川のすばらしい流域を守るの難しいような気がするんです。国交省と森林管理署とタイアップして揖保川流域の水量を増やすというような長期計画、これも30年とかいう形でも、10年、20年でもかまいませんが、そういう形で、所轄は違うけれども共同ですというような方針は、考えたことあるんでしょうか。	